



釧公大だより

A Aurora



「陽春を待つ屈斜路湖」高橋侑花（平成24年度卒業生）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や前期授業料の減免を行っています。ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

C O N T E N T S

- 学長メッセージ…………… 2
- 退職者あいさつ・新任教員紹介…………… 3
- 留学を終えて・大学ニュース…………… 4～5
- 在学生からのメッセージ…………… 6
- 卒業生からのメッセージ…………… 7
- 就職情報戦線…………… 8



自己肯定感について

釧路公立大学学長 高野敏行

この冬には、雪かきを三回しました。雪の量はほぼ例年通りと思いますが、寒さは格別だったようです。そんな冬を越えて、新しい春に思っていることを書いてみます。

もう80歳間近のゲーテのところへほぼ同年代の友人の死の知らせが届きました。するとゲーテが「早死にだな。人間長生きするには勇気が必要なんだ」とつぶやいたという話を、ひどく昔に『ゲーテとの対話』という本で読んだことがあります。往年のハリウッド女優リアン・ギッシュは高齢になった感想をきかれて、「年をとるのは、弱虫にはできない」とこたえたそうです。「勇気」、「弱虫にはできない」と長生きの関係は別として、この二つの話をもつ気持ちよさは、そこに現れている自己肯定感にあると思います。

自己肯定感とは、他人と自分を比較することで生まれる優越感とは別のものです。優越感には自分と他人の両方に当てはまる尺度が必要なのです。そんな尺度の例をいくつか挙げると、受験生ならば「点数が高い」「偏差値が高い」、サラリーマンなら「収入が多い」「地位が高い」などでしょうか。場合によっては「酒が強い」「喧嘩が強い」というのも尺度にされることがあります。

ここからは、場面を大学での勉強にしぼって考えてみます。高校までの勉強は他人との競争という側面を強く持っていますから、自分の点数・偏差値をいつも意識し、それを上げるために努力することが勉強と呼ばれがちです。自己肯定感より

は優越感（劣等感）に結びつく勉強になりがちです。大学での勉強の中にも高校までと同じような性格のものがああります。そして、その点で優れている人を「頭がいい」と評価する癖が人々からなかなか抜けきらないこともたしかです。

でも、大学生になって（さらにそのあとも）あらためて求められるのは、比較できない自分への意識です。言葉を換えれば、自分と他人を比較している自分に対する意識です。具体的には、比較が意味をもたない質問に直面する場面が確実に増えます。「自己紹介してください」、「自分のやりたいことは何ですか」、「自分の性格についてどう感じていますか」といったもの。あるいは「私のことどう思ってるの」というような、少し恋愛ドラマのような質問にも出会うでしょう。「この仕事を引き受けてください」と依頼されることもあるでしょう。そんなときに、勉強してきた記憶のなかに解答を求めることはできません。もう一段深いところに求めるしかありません。決定している、選択している自分にです。その自分を肯定できるようになってほしいと思います。

では、自己肯定感を大きくするにはどうしたらいいのだろう。哲学の最初期にソクラテスがこれに近い問題意識で取り組んでいたのは、対話でした。いまなら、他者とのかわりとか共同・協同とよばれていることもそれにつながるのかな、さらには絆という言葉もそこにつながると思われます。新入生にも在校生にも、自己肯定感を大きくしてほしいものです。

退職者あいさつ



今昔

准教授 阿部 順一

釧路に来たのは1995年（平成7年）。この年は1月に阪神大震災、3月に地下鉄サリン事件と立て続けに大きな出来事があった。本学正門前の文苑地区は、今では住宅が立ち並んでいますが、当時は宅地造成中でいたるところが掘り返され大きな水たまりがあちこちにありました。新釧路川（当時は釧路川）の堤防に行くには、途中からけもの道のようなところに行く必要があり、養鶏場の脇を通ったのを覚えています。

当時の大学のパソコン事情は、現在の電算実習室1にパソコンが60台設置されていて、奥の小部屋は、北海道大学とモデム接続するための部屋で開かずの間でした。表計算ソフトはアシストカルク。なれなくて苦労しました。

現在、電算実習室のパソコンのOSはWindows7ですが、1995年春はMS-DOSとその後継のWindows3.1の時代で、私は、MS-DOSの世界で天下を取ったワープロは一太郎、表計算はLotus-1-2-3を使っていました。1994年前任校の研究室のパソコンは名機NECのVM-2。現在の電算実習室のパソコンの主記憶は4GBですが、VM-2は拡張して1MBで、5インチフロッピーディスクが2台内装されてお

り、また外付けのハードディスク40MBを35万円で購入しました。

ネットワークに関しては、前任校では1993年から学内LAN(10BASE5)が始まり、さらに外の世界につながり、1994年にサンフランシスコの駐車場案内とレストラン検索をして、感激したのを今でも覚えています。釧路ではモデム接続で外の世界に出ました。ブラウザはIEではなく、ネットスケープが全盛でした。

1990年代の初めに、ショルダーホンという肩掛けの自動車電話を使っている人を初めて見て、人込みで電話を使うなんて、なんてマナーの悪い人だと感じて、これを使う機会はないと思い、それが現在の携帯・スマートフォンにつながるとは予想もしませんでした。

釧路に来てから約20年で古いも若きもネットを楽しんでいるこの世界を正直予想できませんでした。ネットは私を含めて専門家が使うものだと考えていました。皆さんが直面するこれからの20年、専門家の予想は往々にして外れます。アンテナを張り巡らし、柔軟な頭でお過ごしください。

新任教員紹介

●ひろがき 広垣 みつり 光紀 〈准教授〉 「統計」「多変量解析入門」担当

●ふじた 藤田 ゆう 祐 〈講師〉 「英語」担当

留学を終えて



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学部3年 齊藤尚貴

留学当初は、意思疎通に苦労しただけでなく、文化の異なる受け入れ家族と暮らすことに慣れが必要でした。そして一つ一つの体験が目新しいものでした。特に多くの人と接する中で、自分とは異なる考え方があ

ることに気付き、自分自身を見直す機会をもてたことは有意義でした。

留学先であるバンクーバーは、様々な国から移民・留学で来る人が集うため、北米の文化だけでなく、世界中に文化に触れることができる土地柄です。したがって留学するにはとても適した場所です。また私の将来の夢を叶えるためには英語が必須になるので、今回の英語圏への留学は貴重な経験になりました。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 矢口七萌

幼い頃から留学を希望していた私にとって、バンクーバーでの4か月間は、言葉では言い表せないほど充実したものとなりました。多種多様な人種から成るバ

ンクーバー。英語を学べるだけでなく、世界各国の人達と交流できる土地柄故に経験したことは、非常に貴重でした。4か月を振り返ると多くの思い出があります。その中でも、素晴らしいクラスメートと先生と共に英語で対話した時間は、私にとって忘れ難い時間となりました。再会の約束をしたクラスメート達に、必ずまた会いに行くつもりです。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 北川響子

留学した4か月間は瞬く間に過ぎました。カナダでの生活当初は、横断歩道の渡り方もバスの乗り方も分かりませんでした。それでも時間が経つにつれ、困っている人がいれば手を差し伸べ、道やバスの中で知ら

ない人同士が気軽に声をかけあえる風土に、人の温かみと暮らしやすさを感じるようになりました。キャピラノ大学では、約10か国20人の仲間と英語を学びました。学ぶことに貪欲なクラスメートたちと学ぶ中で、留学の目的や進路を問い直す契機になりました。この4か月の間には英語で意思表示がうまくできずに辛い思いをしたこともありましたが、カナダに留学して多くの経験を積んだことは今後の礎になります。この貴重な機会を与えてくださったことに心から感謝しています。



韓国・牧園大学派遣

経済学部4年 植木涼平

韓国への留学は沢山の人の支えられた一年でした。韓国に来た当初は、言葉も不自由で恥ずかしさから消極的に振る舞っていました。そんな私が韓国での生活に慣れるように、意思疎通を図ろうと努力してくれた人が多くいました。また共に韓国語を学んだ留学生の友達の存在が、孤独感を和らげ、私の留学生活の

大きな支えとなりました。彼らの思いやりや積極的に明るく振る舞う外向的な姿は、私の姿勢にも良い影響を与えてくれました。

留学期間は終わりましたが、これからがスタートだと感じています。将来、語学力や留学経験を少しでも活かせる仕事に就きたいと考えております。そして留学を契機に出会った人達とは永い付き合いをするためにも学び続けていくつもりです。また私が韓国で経験した事柄を伝え、韓国への興味や関心を高めるように務めていきます。



韓国・牧園大学派遣

経営学科4年 松田野々花

韓国に留学し初めは、言葉を聞き取ることも話すことも難しく、とても辛い思いをしました。しかし多くの人に出会い、交流をしていくうちに韓国語が話せるようになっていました。また牧園大学は様々な国から

多くの留学生が訪れるため、韓国語や韓国文化だけでなく、多くの国への関心や理解を深めることが出来ました。さらに様々な国の友達に日本の良さや文化を伝える中で、改めて日本についてよく考えることが出来ました。

最初は不安だらけでしたが、1年間の留学生活を振り返ってみると、とても楽しく有意義で一生に一度しかない貴重な経験となりました。韓国留学でお世話になった人達に御礼を申し上げます。



台湾・明道大学派遣

経営学科4年 木村 勇太

一年留年することになってでも行った台湾留学でしたが、得られたものは貴重なものでした。学校や寮で生活していく中で知らず知らずのうちに友達が増え、自然に中国語が聞き取れるようになり、話せるように

なっていました。そして友達や先生方と様々なことを話すうちに、日本のことだけでなく、世界のことを多様な視点から見つめられるようになりました。その結果、自分の夢や将来のことも深く考えるようになりました。留学の終わりは、それで終わるものではありません。この留学経験を活かして考えを突きつめ、将来に向かって研鑽を積む必要性を感じました。留学を通じて貴重な経験ができたことに感謝しております。



台湾・明道大学派遣

経営学科4年 日根 安理早

台湾留学で得たもの、それは語学力だけではありません。留学先では言語の壁を乗り越え、積極的にコミュニケーションを取りました。その結果、多くの友人に恵まれ、私の留学はとても充実し、人生のかけがい

のない思い出となりました。

また夏休み中には自主的に台湾各地を旅行しました。学んだ語学を実践する良い機会となりました。更に現地の人々と触れ合うことで台湾の文化をより一層知ることができました。この留学で台湾だけでなくマレーシアや韓国の友人もでき、他国を知ると同時に日本を見つめ直すことで、視野が広がりました。今後はこの留学でお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、この経験を活かしていきたいと考えております。

大学ニュース

— 平成24年度を振り返って —

●4月1日(日) 交換留学生来日

韓国の牧園大学より禹 泰鎮(ウ テジン)さんと金 京昱(キム キョンウク)さんが本学の交換留学生として来日した。

●4月9日(月) 第25回入学式

午前10時より本学25期生の入学式が挙行され、315名(経済学科208名、経営学科107名、男217名、女98名)が晴れて入学した。

●8月4日(土) オープン・キャンパス

本学の関心を高めてもらうため、オープン・キャンパスを開催。今年で16回目となり、280名の参加者は熱心に話を聞いていた。

●9月1日(土) 交換留学生来日

台湾の明道大学より邱 印萍(チュウ インピン)さんと陳 臆安(チェン イーアン)さんが本学の交換留学生として来日した。

●10月3日(水)～11月1日(木) 公開講座

平成24年度の公開講座を本学の宮下弘美教授、濱田弘樹教授、阿部順一准教授、西村友幸准教授が、それぞれ個別テーマで講演を行った。

●10月5日(金)～7日(日) KPUフェスタ(大学祭)

今まで積み上げてきた実績と経験に趣向を凝らした様々なイベントが追加され、より一層、盛況なものとなった。

●10月31日(水) 特別講演会

帯広畜産大学助教河田幸祝氏より「生物資源の経済学」というテーマで講演があった。

●11月22日(木) 平成25年度特別選抜試験

全国より131名(経済学科89名、経営学科42名)が試験に臨んだ。その結果107名が合格した。

●11月29日(木) 特別講演会

東北大学大学院情報科学研究科教授曾道智氏より「空間経済学の物語」というテーマで講演があった。

●平成25年度一般入試(前期日程)

大学入試センター試験をもって選考。540名(経済学科380名、経営学科160名)の志願者があり、3月5日(火)に合格発表が行われた。

●3月8日(金) 平成25年度一般入学試験

[公立大学中期日程]

東京・大阪・盛岡・札幌・釧路の5会場にて実施。1,131名(経済学科779名、経営学科352名)の志願者があり、3月21日(木)に合格発表が行われた。

●3月22日(金) 平成24年度学位記授与式

第22期の卒業生293名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

入学おめでとう

体育会

体育会会長

渡部 貴将



釧路公立大学に入学された皆さん、おめでとうございます。

新しく始まる生活に、期待と不安で一杯のことと思います。親元を離れての一人暮らしの方もいるでしょう。それだけで新しい発見の連続となります。また釧路出身の方も、大学生活という新たな生活に希望を膨らませていることでしょう。皆さんは、これから多くの人や事物に出会って行きます。それは楽しいことや嬉しいことだけではなく、辛いことや苦しいことも経験されていきます。皆さんは、その経験の中で、人との出会いを大切にして、この大学での生活を有意義に過ごされることを願っております。

さて一番身近な出会いの場には、部活動・サークルがあります。高校時代に所属していた部活動だけでなく、興味のあることに積極的に挑戦されることをお勧めします。釧路公立大学には、野球やサッカーだけでなく、カーリングやアイスホッケー等の北海道ならではの競技等を含む多くの部活動・サークルがあります。この活動の中で得られる経験や出会いは、大学生活だけでなく、社会に出てからも役に立つものです。まずは各部活を見学されて、自分の興味を広げる選択を行うことを期待しております。

高校までとは違い、大学には自由な時間が多くあります。その時間の使い次第で、大学生活は無敵大の可能性を持っています。人との出会いを大切に、大学生活を今後の人生の宝物としてください。

文化部会

文化部会会長

栗森 耕平



新入生の皆様ご入学おめでとうございます。そして釧路公立大学ようこそ。

これから皆さんはこの釧路という土地で釧路公立大生として4年間生活をしていきます。その4年間でどのように過ごせば良いのだろうと考えているのであれば、私はサークルや部活動、同好会等の学生団体に入ることをお勧めします。

活動内容は多岐に渡ります。趣味を仲間と共に楽しむサークルや、夢の実現を目指し発足した部活動や、難関資格に挑戦するために作られた同好会などがあります。また皆さんの学生生活をより良いものにするための生協学生委員会という組織もあります。

サークルには様々な人が所属しています。学年や性別、出身地、国籍などが異なる人たちと関わる機会が多くなります。そのことで新たな仲間も増えますし、なにより自分自身にとってもいい刺激になります。

皆さんのなかにはサークル等に興味がなく、授業やアルバイトに専念することを考えている方もいるでしょう。それでも楽しく学生生活を過ごせると思います。しかし、サークルに入ることでもまた違った楽しみや、より多くの仲間を作る事が出来るでしょう。

私もサークルに入ったことで多くの経験をしました。また良き思い出や仲間もできました。

これから皆さんがスタートを切る大学生活は4年間という長いようでとても短いものです。その4年間の中で自分と向き合い、社会に出るための準備をしなくてはなりません。その4年間で仲間と過ごし、楽しいことも辛いことも分かち合い、素敵な思い出を作ってください。サークルに参加することは、その一助になります。

〈体育会〉

男子アイスホッケー部
硬式テニス部
硬式野球部
サッカー部
準硬式野球部
卓球部
男子バスケットボール部
男子バドミントン部
女子アイスホッケー部
男子バレーボール部
ハンドボール部
アメリカンフットボール部
弓道部

剣道部

女子バレーボール部
男子ソフトボール部
女子バスケットボール部
柔道部
ラグビー部
陸上競技部
ソフトテニス部
女子ソフトボール部
女子バドミントン部
合気道部
フットサル部
カーリング部(StoNeカーレース)
女子ハンドボール部

〈文化部会〉

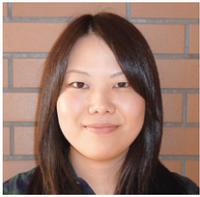
軽音楽部
放送研究部Visions
美術部やちぼうず会
カヌー部BOW
茶道部
吹奏楽部
TRPG研究会
ボランティアサークル
写真部
スノーボード部
囲碁部
書道部
演劇部

ストリートダンスサークルOZ

軟式野球部
二輪会
キャンピーピング部
天体観測部@ハウス
国際交流部
旅行部
ユニホックサークル
NBA同好会
釧路学生新聞局ぽーと
弦楽アンサンブル
Study Production J
ビリヤード部
女子フットサル☆CBS

釧路公立大学YOSAKOIソーランサークル

K.F.C部(釧路フィッシングクラブ)
K-SCAN
みんなの落語会
ソフトラクロスサークル
ミニバレーサークル
釧路観光隊
KTC(Kushiro Training Club)
釧路公立大学ソフトダーツ部
釧路公立大学シクロ・サークル



大学生活を振り返って

経済学科 平田 亜衣

私が釧路公立大学で過ごした4年間は、毎日が楽しく、充実したものでした。大学生活で一番大切なことは、自発的に行動することだと思います。高校の時とは違い、時間割りも自分で作成し、卒業のための計画を立てていきます。4年間は瞬く間に過ぎていきます。与えられたことをこなすだけでなく、自主的に勉学、アルバイト、サークル活動、留学への準備に打ち込んでください。

私は2年生の時の1年間、韓国に留学していました。留学当初は韓国語を話せず、文化の違いに戸惑う毎日でした。しかし韓国で出会った人々の助けを得ながら、自分から積極的に行動することで生活にも慣れていきました。韓国人をはじめとする外国人や、韓国の文化に接したことはとても貴重な経験でしたし、なによりも1年間の留学生活

を乗り切ったということが自信にもなりました。

3年生になってからは、留学した経験を活かしたいと思い、『アジア経済史演習』に所属しました。演習は、大学の講義ではなかなかできないグループ単位での活動が中心です。先輩と後輩が共に一つの課題に取り組むことで、多くのことを学び得ることができました。そして時間をかけて準備を行うことでゼミ生同士の仲は深まりました。

就職活動では、自分が大学生活で頑張ってきたことを言葉でアピールする必要があります。うまくいかず、落ち込むこともあると思いますが、そのような時は大学で出会った友人や、先生、職員の方々が助けてくれます。就職活動ほど自分のことを見つめ直し、知ることのできる機会はありません。また必ず自分を成長させてくれる機会だと思います。

大学生活の4年間、自由な時間は多くあります。新しいことに挑戦し、自分を変えるチャンスです。4年間を終えたときに自分の足跡を残す大学生活を送ってください。皆さんのご活躍を心より願っております。



大学生活を振り返って

経営学科 武石 雅征

大学での4年間はとても充実したもので、自分の成長を実感できました。これまでの生活と一番大きく異なったのは、自分の行動に責任が伴うことになった点です。大学の授業の受講だけでなく、生活のための金銭や時間の管理にも責任が問われます。こうした環境での生活を通して、やるべきことは何かを考えてから行動をするようになりました。

授業に関しては、1年生の時から就職活動を見据えた時間割の作成を行いました。特に興味を持った分野の講義は大変為になりました。3年生からは、『経営組織論演習』に所属し、経営学についてより専門的な内容を学ぶ事ができました。特に、4年後期の卒業論文制作では、自らが興味を持った組織内の個人行動についてアンケートの作成・依頼をし、その結果をまとめ、先生の指導の下、

完成に務めました。また、他ゼミとの合同卒論発表会では大勢の人たちの前でプレゼンをし、貴重な経験になりました。

生活の面では、4年間続けた塾講師のアルバイトから多くのことを学びました。一つの事柄を教えるにはその何倍も知識が必要で、その下調べに苦労しました。また、質問や板書の仕方など工夫するべき点が多くありました。この経験は、就職活動でも大きな武器になり、またこれからの社会人生活にも役立つと考えています。

就職活動では、「自分の言葉で伝える力」が最も重要だと感じました。大学生活のどのような経験からも学ぶ事はあります。その学んだ事を自分なりの言葉で相手に伝える力が必要です。そのためには、日々の生活の中で常に考えて行動するようにしてください。そこから自分にしかできない役割や経験が見つかるはずですよ。そしてその時に学んだ事を忘れずに、就職活動に臨んでください。

4年間は瞬く間に過ぎ去ります。後悔しないためには、とにかく今を満喫してください。大学での出会いや経験が皆さんの将来につながっています。頑張れ、公立大生。

就 職 戦 線 最 新 情 報

大学生の就職状況は、若干の上向き傾向があるとは言え、きびしい状況は今も続いています。業界によっては、採用人数を増やす状況も見取れますが、厳選採用は言うまでもなく、予定人数に達しなくても求人活動を終了する企業も多くあります。そのような中、特に中小企業においては、優秀な人材を強く求めており、多くの若い力を必要としています。就職活動では、細かな求人情報を見逃さず、優良企業を探することは大変重要なポイントとなります。そんな中、今年も多く4年生から内定の報告があがってきました。前年同期に比べると内定率は若干上がっており、学生の努力と地道な活動の結果が見てとれます。また、公務員試験も厳しい採用状況の中ではありますが、各都道府県の警察、自衛隊、地方上級・地方自治体など多くの合格報告がされています。公務員志望の学生は、学内で開催する「公務員試験対策講座」も有効に活用し低学年時から地道に努力を重ねてきた成果が、結果として現れています。

現在、新4年生の就職活動が本格化し、全国で就職活動をする学生から、各種相談の電話や、メールが届いています。札幌における「就職用サテライトスペース」の利用も学生の間では定着し、今年2月からは新たに全国主要都市11か所に「サテライト就職支援施設」を委託することで、北海道以外で就職活動をする学生の就職支援に取り組んでいます。

大学生活で培った多くの経験と知識を生かし、充実した就職活動を展開し良い結果を勝ち得てほしいと思っています。4月からは、新3年生対象の就職対策の講座が週1回のペースで開催され、1・2年生対象にはキャリアガイダンスを開催します。有意義な学生生活を送ることが将来的には大きな自分のスキルにつながることを伝え、いざ就職活動本番の時に、皆さんが自信を持って臨めるよう、大学の教職員が一丸となって応援していきます。

卒業生の内定先リスト (現在の内定状況) 2013/03/22

- **農林漁業** あづま果樹園
- **建設業** 大和ハウス工業、セキスイファミエス東北、アキュラホーム、サンエス電気通信、北海道電気工事、赤石建設、田名部組
- **製造業** ノボ、ノルディックファーマ、フクビ化学工業、日本臓器製薬、科研製薬、メルシャンフィード、モリタン、日本食研ホールディングス、柳月、六花亭製菓、北海紙管、北海道糖業、加藤製作所、熊倉、辰巳屋興業、日の出工業、日本メデイカルプロダクツ
- **卸売・小売業** 東邦薬品、スズキ自販車、UDTトラックス道東、旭川スズキ販売、岐阜トヨペット、北海道クボタ、北海道プフ、ホンダカース、セブン・イレブン・ジャパン、ロソン、ダイユー、ナイス、札幌中央、ライフワース、佐藤商店、三ツ輪商会、山田機械工業、寺岡ファンリティーズ、小田島商事、成電社、正和鋳路、青木商店、大館市青果魚類卸売、丹波屋、東和電材、北良、イオン北海道、マックスバリュ北海道、福原、ダイイチ、モロオ、はくやく、ヤマザワ、サッポロドラッグストアー、ツルハ、小澤化粧品販売代理店、リリアアブル、釧路ヤクルト販売
- **金融・保険業** SBIホールディングス、荘内銀行、みちのく銀行、北海道銀行、北洋銀行、旭川信用金庫、釧路信用金庫、帯広信用金庫、大地みらい信用金庫、稚内信用金庫、苫小牧信用金庫、北星信用金庫、北門信用金庫、網走信用金庫、山形第一信用組合、秋田県信用組合、十勝信用組合、北央信用組合、青森県信用組合、北海道労働金庫、日専連釧路、豊商事、北海道建設業信用保証、北海道信用農業協同組合連合会、野村證券、日本生命保険、東京海上日動火災保険、三備保険事務所、
- **運輸・情報通信** USEN、北海道新聞社、北海道北見バス、北海道旅客鉄道、アイエスエフネット、アイエックス・ナレッジ、オービック、サカイ引越センター、セブンスター、フラーヒルズ、三ツ輪運輸、苫小牧埠頭、日販コンピュータテクノロジー、日本郵便、富士通アドバンスソリューションズ、北海道日本電気ソフトウェア、富士通エフ・アイ・ビー、富士通システムズ・イースト、北海道CSK、北日本コンピューターサービス、アイティ・コミュニケーションズ
- **電力・ガス** 釧路ガス
- **不動産業** レオパレス21、山孝、帯口アトム

■ **サービス** 日本年金機構、マイナビ、ANA新千歳空港、北海道アルバイト情報社、練成会グループ、エイチ・アイ・エス、カナモト、シェイプアップハウス、セントゲア・ホールディング、ホクレン農業協同組合連合会、たいせつ農業協同組合、ありだ農業協同組合、釧路太田農業協同組合、山形農業協同組合、岩手ふるさと農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、標茶町農業協同組合、平内町農業協同組合、釧路市東部農業協同組合、厚岸農業協同組合、阿寒クラフトホテル、加森観光、医療法人新産健会、王子総合病院、函館五稜郭病院、音更宏明館病院、社会医療法人 孝仁会、社会医療法人 社団カレスサッポロ、北海道勤労者医療協会、日本赤十字社 北海道ブロック血液センター、雨竜土地改良区、共成レムテム、釧路バリエ・アカデミー、釧路商工会議所、健社院、幸楽苑、札幌市青少年女性活動協会、あいプラン、アマネセル、神妃フードサービス、大庄、ダイナム、合田観光商事、ノヴェロ、ベストライフ、みなと寮、ワールド会館、平和園、立若、陵雲厚生会、鈴木圭介税理事務所

■ **国家公務** 海上自衛隊(一般曹候補生)、陸上自衛隊(一般曹候補生)、航空自衛隊(自衛官候補生)

■ **地方公務** 警視庁、神奈川県警察、北海道警察、宮城県庁、福島県庁(中級)警察事務、北海道庁(上級)、伊東市役所、久慈市役所、八戸市役所、北秋田市役所、札幌市役所(学校事務)、伊達市役所、紋別市役所、帯広市役所、釧路市役所、六ヶ所村役場、六戸町役場、斜里町役場、滝上町役場、長沼町役場、厚岸町役場、旭川市消防本部、苫小牧市消防、北見市消防

■ **教員** 東京都教員(東京都六郷工科高等学校)

■ **進学** 玉川大学教育学部

平成24年度卒業生の就職状況

1. 求人件数及び内定状況 平成25年3月22日現在

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者数	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子	207	180	168	93.3	12	
女子	87	73	62	84.9	11	
計	294	253	230	90.9	23	

2. 進路別内定状況

進路	男子				女子				計			
	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%
民間公務員	150	138	12	92.0	70	59	11	84.3	220	197	23	89.5
公務員	29	29	0	100.0	3	3	0	100.0	32	32	0	100.0
計	180	168	12	93.3	73	62	11	84.9	253	230	23	90.9
進学	6	6	0	100.0	3	3	0	100.0	9	9	0	100.0
無業	11	0	11	0.0	10	0	10	0.0	21	0	21	0.0
計	17	0	17	0.0	13	0	13	0.0	30	0	30	0.0
合計	197	168	29	85.3	86	62	24	72.1	283	230	53	81.3

3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路市内		北海道内		北海道外		計		割合	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	合計			
製造	1	1	6	3	10	3	17	7	24	10.4
卸売・小売	4	1	18	4	13	3	35	7	42	18.3
金融・保険	4	7	15	7	8	1	27	15	42	18.3
運輸・情報	1	1	12	1	11	3	24	4	28	12.2
電力・ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.4
サービス	6	3	17	13	11	10	34	26	60	26.1
その他	5	1	14	1	11	1	30	3	33	14.3
合計	22	12	82	29	64	21	168	62	230	100.0
割合	34	11	48.3%	37.0%	85	230	100.0%			

平成25年度年間スケジュール

- | | | |
|---------------------|----------------------|---------------------|
| 4月1日……学年始め | 9月24日……後期授業開始 | 1月28日……後期定期試験(2/5迄) |
| 9日……入学式 | 10月11日……大学祭(KPUフェスタ) | 3月4日……卒業生発表 |
| 10日……オリエンテーション | (10/13迄) | 8日……平成26年度一般選抜試験 |
| 11日……前期授業開始 | 11月21日……平成26年度特別選抜試験 | 16日……春期休業開始 |
| 6月25日……開学記念日 | 12月23日……冬期休業開始(1/9迄) | 22日……卒業式 |
| 7月24日……前期定期試験(8/1迄) | 平成26年 | 31日……後期終了 |
| 8月2日……夏季休業開始(9/22迄) | 1月10日……授業開始 | |
| 9月22日……前期終了 | | |

◎平成25年度前期授業料について

前期授業料は4月30日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

編集後記

凍てつく厳冬が終わりを告げ、この釧路の地にも春の便りが届くようになりました。今春、新たに三百名の若人が釧路公立大学を巣立っていきました。卒業生諸君が四年間の学生時代の経験を踏まえて、社会人として飛躍されることを祈念しております。また社会へ巣立つまでの二十余年の時間を温かく見守ってきた御家族の方に対して、感謝の念をもつことを望みます。私たちは陰徳や誠実性をもって人物評価をします。然るべき見識と思慮深さをもって状況を判断し、目前の利得に心を移さず、困難に気後れせず確実に一歩を踏み出すことが大切です。新たに社会の一員となる卒業生同様、私も自省しながら本学の教務に務めていく所存です。

釧路公立大学だより 第47号

平成25年4月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市青野4丁目1番1号

T E L 0154-37-3211(代)

F A X 0154-37-3287

学生課: T E L 0154-37-5091

URL: http://www.kushiro-pu.ac.jp/

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)